

R18
MHA
UNOFFICIAL FANBOOK



あるとき
何気なく見ていた
ヒーロータイム
マ

内容は忘れたが

かしのパンが

耳かきのパンが
離れなくなつた

知ってるかな

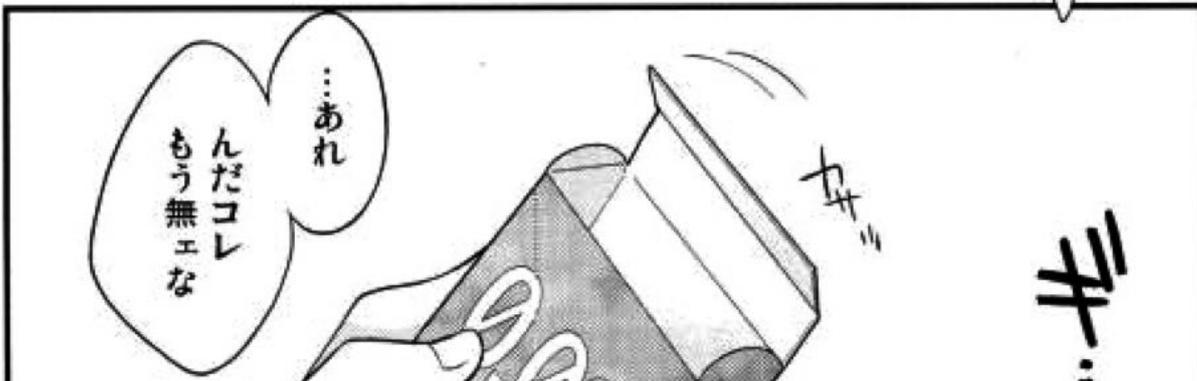
夢というのは
「呪い」と同じなんだ

あいつのことを
言っているように
聞こえたからだ。

ヒキヒキ

緑谷出久は

夢に呪われている







ハッ
あア!?

生意気な口
きくじゃねーか

なあ
デク!?

あ...



俺に犯されて
感じまくってる
くせに

やめられるわけ
ねーだろ

かっちゃ...

“無個性”の
デクは

大人しく俺に
やられてりや
いいんだよ!!

最近デクが
よく言う言葉

「おうやめよう」
「こんなの良いなごみ」

「春からは受験生に
なるんだから
こんなこと続けちゃだめさ」

クッソ
くだらねエ

多分あいつの
言い分は

恋人でもない同士が
セックスするのは
倫理的に良くないとか

快楽に溺れるのは
正しくないとか

そういっ
しょーもないことだ





そもそも
初めてキスした
ときも

初めて体に
触ったときも



ビビってはいたけど
別に嫌がっちゃ
いなかった



アホらし……

何もかもが
今更だ



いつもは頬に障る
デクが
ちよっと触るだけで
しあらくくなるのは
面白かったし



初めての快感に
ハマってたし



なんなら
あいつだって

かっちゃん
今日は……その

あれ
しないの？



デクを
感じ伏せてる
感覚は
気分が良かったし

実際 体も気持ちよかった

もうここまで
来ちまったんだから
今更
戻っても仕方ない



でも
カツキなら
受かんじゃね?

マジか
スゲーッ

たりめーだ
ポケ
モブが
しゃしゃんな



うわー
俺まだ
考えて
ねーや

4月になったら
進路希望調査
あるぜ



デクはバカだから
色々考えてる
みてーだけど

全部無視

えっ

カツキ
雄英行くの!?

折寺中学校



あいつが俺から
離れるなんて
出来ないのだ



デクがどんなに
口で拒んでも



これ
買いに行ってた
から……



おせえ



ホラな



なにも
出来ねエ
俺の“デク”



…そうだね

かっちゃん
トップヒーローに
なるんだもんね

あ？
本当に決まってるん
じゃねーか
俺が行かなきゃ
誰が行くんのだ
っつーの



…かっちゃん

雄英行ってくつて
本当………？





僕だって

挑戦もしないで
諦めるなんて

出来な

カッ



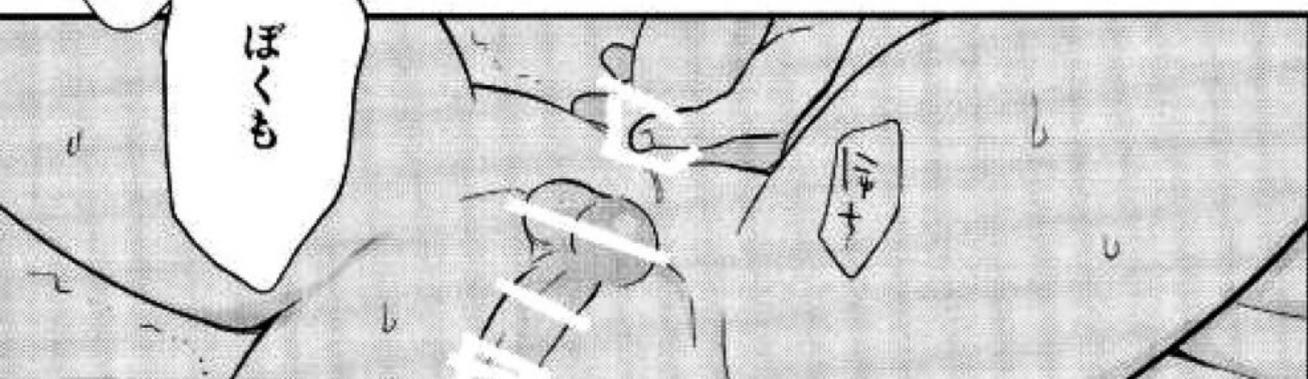
諦めろよ



なれるわけ
ねーだろ
"無個性"が

ヒーロー
なんて!









ほらまだ
こんな
締めつけて



ちよっと奥の
右の壁
こいつの
好きな場所は
全部知り尽くしてる



かっちや……ん



こいつは
俺から
離れられない



だから

デクが俺から離れるのは

俺がデクを手放したときだ。

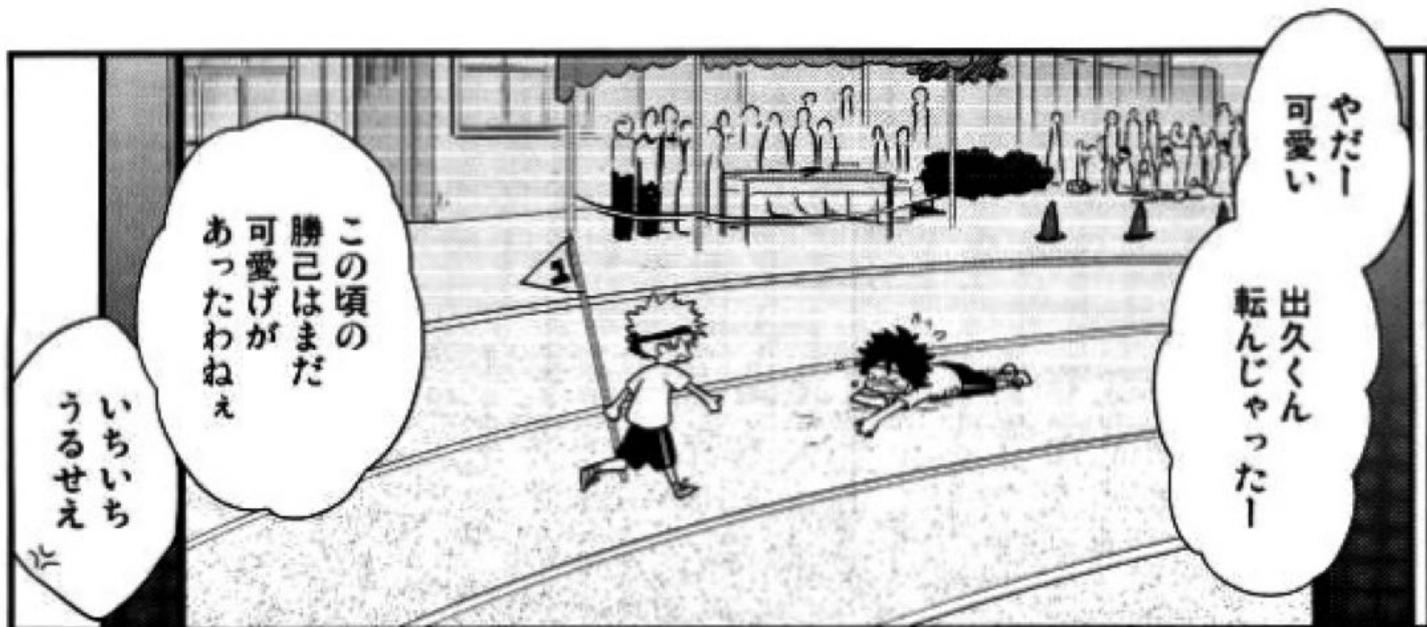


そんな日が
来るなんて

思っても
みなかった











ぼくは
やさしくて
かっこいいほうの
オールマイイトになる！

ぼく
1番じゃなくて
いいよー！

1番は
かっちゃんのだから



そしたら
いっしょに
オールマイイトに
なれるでしょ



だからおれが
デクのぶんまで
すげえヒーローに
なる

それでいーだろ！

いっしょに？
おれはヨユーで
なれるけど
デクは
ムリだろ

えー……



オールマイト



デクはそのへんで見てろ!

えくほくも見てるだけじゃやだ!

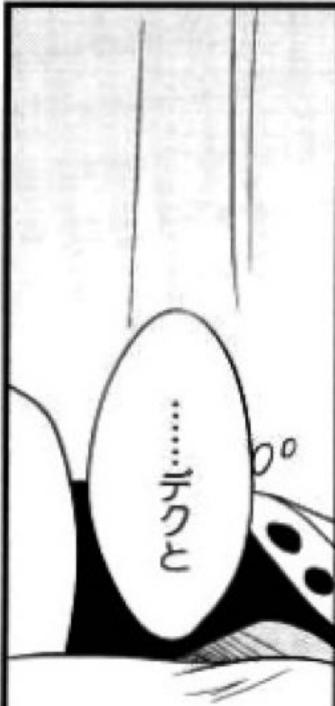


オールマイト



失礼します...

おやいらっしゃい



.....デク



試験とはいえ

オールマイトと戦ったんだよな.....





俺はあなたに
憧れたけど

あなたに
なりたかった
わけじゃない

あなたの
いる場所

一番に
なりたかった



オールマイト

あなたのいた
場所の景色を



叶うわけもない
夢を見る
デクと違って

俺は手が届く
目標を掲げてる
思ってたんだ



それがどんなに
遠い場所か
わかりもせずに



この道を
まっすぐ
歩んでいけば
いつかあなたに
届くと信じてた



俺たちは



見たいと願ったんだ













なんで
かつちゃんが
そういうこと言うの!?



あ!?
オイ



散々僕のこと
振り回したくせに

ずるこよー!

僕が
やめようって
言ったときは
相手にしなかった
くせに

なんで
今更
そんな

てっ

手放す
みたいな



勝手なのは
かつちゃんの
ほうじゃん

僕のこと







……
くだらねェって
思うのに

今更
手放すとか
ありえねえし

てめエが
勝手すんなら
また振じ伏せて
俺のモンに
するだけだし

だからせいぜい
好きにしろや

なんで
こんな
欲しくて欲しくて
たまんねェん
だろうな……



……かっちゃん
の
欲しいものって



誰が
いらねえ
なんつった

の
「きゅん」



てめェだよ
デク



自分のこと
言われてんのに
わかんねーのか
クソナード



は



もう
"無個性のデク"じゃ
ねえんだろ

1番も
デクも
両方手に入れる



俺も大概
呪われてるわ

どうせ
てめエは
俺から
離れられない

俺が離して
やらねエからな



……え？



お



それでも
欲しいんだから



……あのとき……
中学の時は
いと色々
違ったし……



あ？
またやめるとか
言い出したら
マジで殺すぞ

ちよっっ
待ってっ

殺っ……



か
かっちゃん
そそれって
あの……



あの頃は
かっちゃんに
「もういらない」って
言われなかった
ずっと怖かった

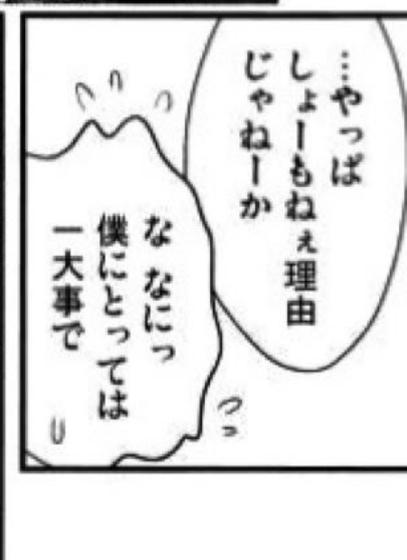
だから
言われる前に
自分から
手放したかった
けど
でも……



金輪際ごちゃごちゃ
言うなポケ



だからもう
離さねえ
つってんだろが



……やっぱ
しょーもねえ理由
じゃねーか
なにっ
僕にとっては
一大事で



……うん



かっちゃんは
絶対
諦めない
もんね…



そういう
かっちゃんが
好きなんだもん……





言ったら
離してやらねえって

諦めて
死ね

力抜いとけ

すぐおんこして
やるから

デクの
好きな場所くらい
知り尽くしてんだよ

あ

かっちゃ……

あ……

すし
すし
すし

ぶじで
よかった……

ほんとに
もう
いなくなったり
しないで

勝手だって
言われても

もう
あんなの
嫌だよ……

……
心配されんのも
クソだな
もっと強く
なんねーと……

デク

ん……

デク……っ



かっちゃん...

かっちゃんっ

あ
...っ
ここだろ
オラ!
ほっちゃんっ
あ
あっっ
やそこ
だめっ...
ほっちゃんっ

かっちゃん...



デク...







MY HERO ACADEMIA
Katsuki x Izuku fanbook#13
Presented by 20161000